

十二所保育園

改築工事に着手

市では、乳幼児をより良い環境で保育できるように、保育所の改築を昭和五十六年から順次進めています。今年度に計画していた十二所保育園の改築は、八月三日に市長、市議会議員、地元の人たちなどが出席して起工式が行われ、工事が始まりました。

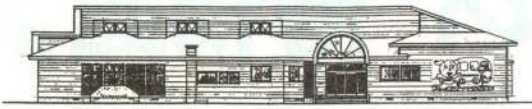
総事業費は
9,600万円

現在の十二所保育園は、昭和三十四年に建設された木造の建

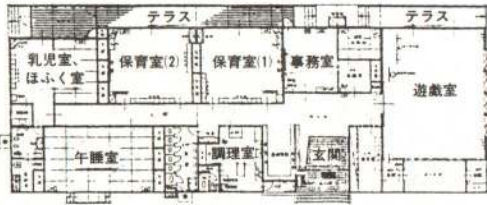
物で、築後三十年を経過していることから老朽化が著しくなってきた。また、敷地が狭く、駐車場もないことなどもある。地区の人たちから移転改築が強く要望されていきました。

そのため市では、旧成章小学校グラウンド（十二所字中町地内）に移転改築することになりました。

保育園北側立面図



平面図



敷地面積は二千四百四十九平方メートルで、現在の敷地の約三・五倍の広さになります。建物本体、機械設備、電気設備を含めた総事業費は約九千六百万円、完成は十二月十五日の予定です。



8月3日に行われた起工式

現在の保育園の

2倍の広さ

新しい保育園は、木造平屋建てで床面積五百三十一平方メートル。保育室（二部屋）、乳児室、午睡室、遊戯室、テラスなどが設けられ、床面積は現在の保育園の約二倍の広さになります。建物の正面右側外壁には、子供たちに親しまれるようにと漫画風の絵が描かれます。また、これまでなかった乳児室が設けられることから、来年四月からは三歳未満児の保育もできるようになります。

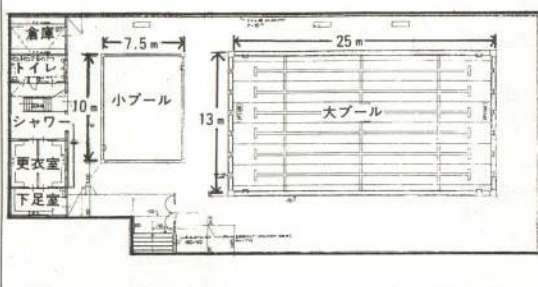
着々進む成章小プール工事

—11月の完成目指して—



工事が進められている成章小プール

平面図



今年度予定していた成章小学校プール建設は、七月十四日に着工し、十一月十六日の工期内完成を目指して現在工事が進められています。

プール施設は、同校敷地内の屋内運動場北側に建設され、総事業費約九千四百四十五万円。十メートル×七・五メートルの小プール（低学年用）、二十五メートル×十三メートルの大プールのほか、更衣室、トイレ、シャワー、機械室などのある管理棟が設けられます。

施設の特徴としては、プール本体には軽くて丈夫、修理しやすい材質のFRP（不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの）が使用されます。また、一般にプール本体や給排水管からの漏水が多いことから、点検や修理などの維持管理がしやすいように、プールサイドの地下には作業用通路が設けられ、その中に給排水管が配管されます。さらに、シャワーからは、太陽熱を利用した温水がでるようになっていきます。これらは、市内のプール施設としては初めてのものです。